

県研究指定校 武雄市立武雄小学校 授業公開

令和4年11月18日に武雄市立武雄小学校で県の研究指定「一人一台端末を活用した授業改善」の授業公開研究会が開催されました。武雄小は本研究指定2年目。今回は17クラスにおいて、先進性と提案性のある授業が公開されました。

武雄小学校では、「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現に向け、「情報スキルアップチーム」「授業改善チーム」「情報活用能力年間計画チーム」を組織して、進められています。

【研究主題】 一人一台端末を活用した授業改善 ～「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現を目指して～

「跳び箱運動」

6年生 体育科 谷水 葉太 先生

←レベルアップさせたい
技の試技を撮影

↓撮影した動画をチェック



児童同士がやりとりする場面



自分の考えをまとめ、表現する場面

グループで役割を分担し、自分の試技と手本を動画で見比べ、課題の発見につなげます。グループの友達との話し合いを通して、協働的な学びが実現されていました。

学習の足跡を残すために、最後の試技を撮影し、次回レベルアップさせたい技や次時に活かすことを確認し、個別最適な学びにつなげることができていました。

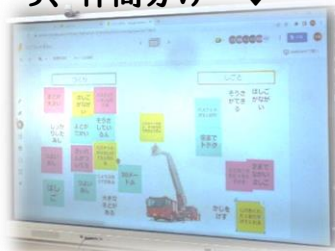
「じどう車ずかんをつくろう」

1年生 国語科 今川 萌々香 先生

Jamboardを活用し、グループで話し合いながら、仲間分け ↓



教職員と児童がやりとりする場面



Jamboardを活用し、はしご車の「しごと」と「つくり」の文を確かめます。

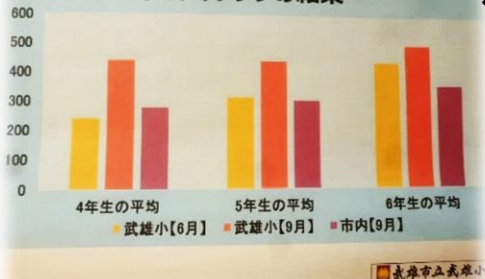
話し合いながら文章を書くための材料集めをしたり、情報を整理したりすることができ、協働的な学びを充実させることができていました。

校内の掲示

←タイピングスキルを試す時間が定期的にとられていて、その結果が公表されていました。

スライドを用いた作品紹介が掲示されていました。端末のカメラで撮影した画像をスライドに挿入し、説明文が書かれています。

タブレットスキルチャレンジの結果



教職員と児童がやりとりする場面

「電気の通り道」

3年生 理科 松田 悠椰 先生

自分の考えをまとめ、表現する場面



Jamboardを活用して、電気を通すつなぎ方とつかないつなぎ方を比較させ、豆電球に明かりがつくときの条件を話し合う姿が公開されました。

習熟の段階では、Googleフォームを用いて本時の学習内容の定着・習熟を図る取り組みが効率的に行われていました。

児童同士がやりとりする場面

「私の感じる和」

6年生 図画工作科 穴井 智子 先生



「和」を感じるものと海外のものを比較して「和を感じる要素」を整理し、気付きを交流する際に、Jamboardが活用されました。視覚的に考えを整理でき、グループの考えをまとめ、学級全体に広げていく協働的な学びに効果を発揮していました。

教職員と児童がやりとりする場面

「地域の発展につくした人々」

4年生 社会科 中村 周平 先生



石井樋の役割について、資料を基に調べたことをまとめる活動を行った後、Googleフォームを個別最適な学びにつなげる取組が公開されました。Googleフォームの得点を確認した後、習熟度別に問題を選択し、本時の学習内容の定着・習熟を図る児童の姿が見られました。

授業公開後の全大会では、宮崎大学副学長 新地辰朗先生の講演『見通し・協働・修正のサイクルで獲得する個々に最適な「学び」』が行われました。

全国学力・学習状況調査やOECD等のデータを引用しながらこれから必要となる力について、ご講演いただきました。「個別最適な学び」や「協働的な学び」を充実させていくためのポイント等を示していただき、これからの方向性を考える貴重な機会となりました。

「SAGA Eコネクト」ではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

